

チャレンジ

～ BLUE POWER ～

大和市立つきみ野中学校

第2学年 学年だより第18号

令和元年 10月24日発行

* 合唱コンクールの感想文です！ *

先々週の10/18（金）の合唱コンクールの感想文を生徒に書いてもらいました。練習から本番までの思いや3年生の合唱の迫力を感じることができたようです。ぜひ、ご一読ください。

『優秀賞だけど…』 2年1組 生徒1さん

先日、合唱コンクールがあった。私たち一組の曲は「絆」。あまりクラスの雰囲気合わない曲だった。曲調も、曲名も今の一組とは正反対で、練習がうまく進むとは思えなかった。

練習が始まると、思っていた通りクラスの一部の人は急そうに練習し、それを見たまじめにやっていた人が怒って、注意し、とチームワークは全くなくグチャグチャだった。しかも音楽の授業でもふざけてしまい先生にひどく注意されてしまった。それでもクラスの気持ちも歌も中々まとまらなかった。自分たちの歌を撮って聴いても、それは明らかだった。

しかし、先生やパートリーダーの人たちと強弱のつけ方やブレスの位置などを考えて歌ってみるとすこし良くなった気がした。ハーモニーがキレイになってくると合唱に対する意欲が少し高まり、ますます良い歌になった。私は練習が楽しくなってきた。

前日。リハーサルでの5組や7組が上手くて不安だったが、先生たちや他のクラスに褒められて自信をつけることができた。

当日。一組の雰囲気はいつものあまり変わらなかったが、私は逆に安心できた。一組は6番目だった。ステージに立つと、多くの人顔があった。5クラス分の合唱も聞いたので不安と緊張で胸がいっぱいだった。そのせいか、いつもより時間が過ぎるのがはやかった。でも精一杯歌うことができた。

結果発表。なんと2年生は7クラス中3クラスが優秀賞だった。私は心の奥でもしかしたらと思いつつ手を合わせた。「一クラス目、5組！！」後ろで歓声が聞こえた。「二クラス目、1組！」私はとても驚いて思わず声を上げた。気がついたら涙も出ていた。まわりの女子たちもみんなそうだった。私はとてもうれしかった。練習は、簡単なものばかりではなかったで、それを思い出すと涙が止まらなかった。

だから、クラスに戻ったら先生やみんなで盛り上がり、クラスの絆も深まって楽しく終わると思っていた。だが、違った。やはり一組はまだ未熟なところがあった。合唱を聴いているときの態度で先生に叱られてしまった。皆のうれしさは一瞬で消えてしまった。しかも先生は優秀賞が取れたことが疑問なのは心からやってなかったからだと言った。でも、発表前に手を合わせていたり、発表を聴いて叫んだり、泣いたりしていた分には優秀賞をとりたいたいという思いが強かったのだと思う。だから先生にはほめてもらいたかった。一番練習に熱心だった先生にもっと喜んで欲しかった。だが、先生が最後泣いていたのを見ると、その感情を抑えてでも一組のために叱ったのだと思った。

私はもう一つ悲しいことがあった。それは、周りのクラスに「一組そんなにうまくなかった。」「権力じゃない？」と言われていたことだ。まさかそんな風に思われているとは思わなかった。素直に「おめでとう」とおもってもらいたかった。だから、今後の行事ではそのようなひがみを言わせないぐらい優秀に勝ちたいと思った。

私は、今回の合唱コンクールを終えて、まだまだ一組は未熟なところがたくさんあると思う。そのため、今回も思ったような終わり方ではなかった。だから、今後は練習の過程や態度から全て優秀賞や勝利にふさわしいものにしていきたい。また、今回優秀賞をとれた「絆」のとおりクラスの絆を深めて残りの日々を楽しく過ごし、後悔がないようにしたい。



『YDKの「やればできるクラス」』

2年1組

生徒2さん

10月18日、大きな行事の終わりを迎えようとしていた。「合唱コンクール」その7文字。

練習はあまりにもひどかった。僕はパートリーダーだったけど、全くまとまりがない、ましてやうるさいクラスなのにいざ歌うとなると急に声を出さない。めちゃくちゃだった。でも、それは最初だけだった。意外と長続きするかとおもったらそうじゃなかった。練習を重ねるごとにだんだん声が出るようになった。しかし、課題はまだある。それもたくさん。先生がいないときはガラガラして歌わないクセに、先生が来ると急に歌っているアピールなど、課題が増えまくっていった。でも歌うときは歌う。本当に一組はわけのわからないクラスだった。

そして、リハーサルを迎えた。一組は6番目と最後の方。どのクラスも歌声がきれいで驚いた。そして、一組に回ってきた。無事に歌いきった。そして、リハーサルが終わって製図室に向かった。自分たちの声を聞いた。するとなぜか男子の声が聞こえない。なぜだろう。それは男子の声が小さすぎて、女子の声につぶされてしまっていたからだ。合唱コンが近づくなかで、この歌声はあまりにもひどかった。合唱コンまであと1週間。僕はあせった。

なんだかんだいって本番を迎えた。前のクラスの2年4組が終わり、僕たちがステージにあがった。そして、歌いきった。すべてのプログラムが終わり、おまちかねの結果発表。すると「二年一組 絆」と湯田先生が言った。とってもうれしかった。これほどうれしいことが他にいいのか。そう思った。

最初は下手だったけど努力が実ったいい合唱コンだった。まさに俺たち YDK「やればできるクラス」

『合唱コンクールを終えて』

2年2組

生徒3さん

最悪な朝だった。登校する途中、友達との会話で今日は給食がなくて、お弁当だったことを思い出した。しまったと思ったが、すでに時は遅く僕は弁当を忘れたという事実をクラスの前でさらすことになる。一人大きく手を挙げた。みんなから笑われたが、僕は母からのお弁当が来るのを信じた。

時間になった。体育館へと移動していくと、聞こえてきたのは一年生の歌声だった。今年も「明日へ」を歌ってくれてた人たちだ。なんだか嬉しかった。

次は僕たちの番だ。ステージにいざ立ってみると、緊張はしなかったがニヤニヤしてしまった。指揮者が手を挙げると、クラス全員一斉に静かになり、みんな集中しはじめた。最初は、クラス全員の歌声から始まったが・・・不安な気持ちが表に出てきたのかハーモニーがあってないのに気付いた。それからというもの、みんな練習の時より声が出ていない。

どうしたんだ、みんな。緊張しているのか・・・

自分は歌いながらも冷静に判断していた。よし、それなら

・・・と、音程がずれないように精一杯の音量を出した。

「届け！」一番後ろから声援のように声を出した。

「届け！届け！」

みんなのハーモニーが重なってきた！いい雰囲気だ。君とみた海の光景が目浮かぶような美しい歌声が体育館に響く。結果は優勝できなかったが、2組の爽やかなハーモニーが今でも耳をくすぐってくる。思い出に残る合唱コンクールになった。



『合唱コンクール』

2年2組

生徒4さん

ついに僕たちも合唱コンクール2回目になりました。去年は惜しくも優秀賞を逃してしまいました。あれだけ努力したのに、なぜ優秀賞をとれなかったのか、一から教えてほしいくらいです。その苦しさを胸にこの合唱コンクールで頑張りたいと思いました。

運動会が終わり、気が少し楽になったが、その翌週から合唱コンクールの練習が始まりました。正直、とても嫌でした。まして中間テストもありました。頭の中がいっぱいで、やる気がわきませんでした。朝練で、朝早く来たり、昼休みに教室で練習したり、つき中タイムで移動教室で練習したり、とても大変でした。そして、あつという間に残り一週間になり、僕もみんなもやる気がわいてきて、本気で「優秀賞」というものに一念発起しました。そして、当日肌寒い中登校してきました。色々なことを考えていたら、学校に着きました。そして、二年二組で歌う最後の「君とみた海」を歌いました。文化発表会中も、少し「優秀賞か」ということを考えていました。そしていよいよ閉会式で結果発表が始まりました。結果は、優秀賞ではありませんでした。とても苦しかったです。あの合唱コンクールの練習をしっかりとやっておけばよかったなと思いました。残りの二年での、二組での学校生活をしっかりとしていきたいです。

『合唱コンクール』 2年3組 生徒5 さん

つきみ野中学校に来て、初めての合唱コンクールで、少し緊張しました。始めはどうすればいいのか、わからない所もあったけど、クラスの仲間と協力してできたので良かったです。私の中で一番印象に残ったことは、他学年との合唱練習です。1年生と練習したときは、2年生として見本となるようにがんばり、3年生との練習の時は、3年生のいい所を盗み、コメントをもらい、もっといい合唱ができるように次につなげていくことができるからです。そして、合唱コンクールで1番印象に残ったのは、3年8組の「親知らず子知らず」です、理由は、コンクール前に合唱練習をやったときも、2年生にはだせない迫力があって、入るタイミングもあってすごかったのに、本番ではその練習を何倍も上回る気迫で鳥肌が立つような合唱でした。今年はあまりよい結果ではなかったけど、一生懸命できてよかったです。来年は今年の3年生の合唱を越えられるように頑張りたいです。

『合唱コンクール』 2年3組 生徒6 さん

運動会が終わったらすぐに合唱コンクールの練習が始まりました。朝8時30分からクラスでの練習も始まりました。

僕は全ての練習に全力で取り組めたかと聞かれると自信をもって「はい」と答えることはできないと思う。その理由として一番大きいものは朝練習が始まるギリギリに学校に来てしまったためスムーズに練習を始めることができなかったからというものだろう。しかし、最後の1週間はしっかりと朝練習が始まる前に学校に来ることができていた。これをもっと前から続けられていれば自信をもって「はい」と答えることができていたかもしれない。これは今回後悔するべき点だと思う。

本番では自分なりに全力を出し切ることができたと思う。しかし、あくまでも自分の考えのため周りの人からどういう目で見られていたかどうかは分からない。先ほども言った通り自分の中では全力を尽くしたため、本番に関しては悔いなくできたと自分では思う。

他クラスの発表で一番印象に残ったのは7組の「信じる」だ。その理由としては、同学年なのに口の大きさがそろっていたり強弱がきれいに合っていたりなど表現の面でも素晴らしかったと感じたからだ。今回できなかったことは来年に改善できるようにしたい。そして、来年、笑って終われるようにしたい。



『十月十八日の舞台』 2年4組 生徒7 さん

ステージの上にある指揮台の上に乗ったとき、私は合唱コンクールの練習が始まってからこの時間までのことを思い出した。

「合唱コンクールで指揮者をつとめてくれる人はいますか？」私は少しためらいながら手を挙げた。指揮者をつとめたこともなかったし、つきみ野中学校の合唱コンクールに参加すること自体初めてだった。しかし私は手を挙げた。内申点を上げるために指揮者をつとめたわけではなく、純粹に指揮者をつとめてみたかったからだ。



練習が始まってから毎日家で練習した。打点の分かりやすさを追求し、鏡の前で練習した。先生や伴奏者からの客観的なアドバイスが役に立った。

本番の一週間ほど前にあったリハーサルではテンポが走ってしまい、歌と指揮がずれてしまう場面がいくつも見られた。指揮者をつとめるからには自分が皆の歌声をまとめて、皆を導かなければいけないと今まで以上に強く思った。

そして本番がやって来た。ステージの上では時間があっという間に過ぎていった。この一時のために皆がかけてきた思いを無駄にはしたくなかった。このクラスで作ったこの時間がいつまでも続いてほしいと思った。優秀賞をもらうことはできなかったがステージ上での時間は楽しかったし、かけがえのないものになった。そして音楽科の先生に「指揮が綺麗だったよ。」と言われて嬉しかった。来年は指揮者をするつもりはないが、優秀賞をとることができたらいいと思った。

『文化発表会で感じたこと』

2年4組 生徒8 さん

合唱コンクールは運動会と比べて、朝練などもあるので正直面倒だなと思っていました。しかし、文化発表会は好きなのでがんばろうと思いました。

練習をやっていくうちに、どうせなら優秀賞をとりたいなと思っていき、合唱コンクールに対しての気持ちが変わりました。最初は強弱や声量も意識できていませんでしたが、練習を重ねていくうちにできるようになっていきました。

本番、僕は練習でもたまに忘れることがあり、学年の予行練習でも忘れてしまった、指揮者が手をあげたら足を広げるという動作を忘れないように意識しました。ちょっとした事の意識を変えることでも大事なことだと思いました。そして、自分では良い合唱ができたなと思った合唱でした。

弁論では野球部の先輩がすばらしい弁論を発表してくれました。先輩は難しい事を話しているのに、わかりやすい例などをだし、わかりやすいように話していて、野球も上手で勉強もできて素晴らしい人だなと思いました。



三年生の英語のスピーチでは、英語を覚え、あれだけすらすらと話すことができるのはすごいことだなと思いました。僕はスピーチの内容を聞きとる練習をすることで英語のリスニングにもなると思い、聞きとろうとしましたが、難しく細かいところは全くわかりませんでした。僕も三年生になったときにあれだけすらすらと英語を話すことができたらいいなと思いました。

吹奏楽部の演奏では今回も盛り上がり、良い演奏ですばらしいなと思いました。色々な曲を演奏できるのはすばらしいなと思いました。

今回の文化発表会で目標などをもつことができたので良かったなと思いました。

『二年五組での合唱コンクール』

2年5組 生徒9 さん

私が今回の文化発表会で一番心に残っているのは、合唱コンクールだ。この合唱コンクールで二年五組のことがとても好きになったと思う。その理由は2つある。

一つ目は、みんなのあたたかい反応だった。私が伴奏者として話しているときに、うなずきながら聞いてくれている人がいたり、パートリーダーではない人も、練習中に話している人に注意をしてくれたりしていた。このような行動から、クラスの一人一人がよりよい合唱をめざしているのだと思い、みんなをとても信頼することができた。

二つ目は、私が合唱コンクールの直前にピアノコンクールが入ってしまい、早退しなければいけなかったときに、あたたかく見送ってくれたことだ。伴奏なのに一番大事なときに休みで、みんなよい気持ちではないだろうし、イヤミを言われてもおかしくないと思っていた。しかし学校に行ってみるとみんなが「がんばってね。」と応援してくれた。みんなのおかげでとてもうれしい気持ちでコンクールに臨めだし、合唱コンクールも楽しみになれた。

そしてむかえた当日。仲間を信じ、全力で演じ切ることができた。優秀賞もとれたため、今までの努力がかたちになった気がして、とてもうれしかった。

合唱コンクールを終えて、このクラスになれてよかったと思った。これから約五か月、大きな行事はないが、これまでの練習で得たことを生かし、もっと楽しい学校生活をおくりたい。

『二年五組だけの「ヒカリ」』

2年5組 生徒10 さん

五組は運動会の時もそうだったけど、今回もやっぱりそうだった。それは、練習開始時間を全く守れないということ。朝だって八時二五分集合なのに、三十分過ぎて来ない人がいたりして、やる気があまりないように思えた。

そんな五組の課題曲は「ヒカリ」。この曲は、毎年三年生が歌うような難しい曲だった。難しいからこそ練習、でもダラダラする様子を見て府川先生は「時間をもっと大切にしようよ！」と声をかけてくれたりしてだんだんとやる気になってきた。やる気が先生たちに伝わったのか、原田先生さらに茶屋先生からもたくさんアドバイスをもらった。そのおかげで日に日に上手になっていっていることが自分でもわかった。

そして、迎えた当日。五組は二年の中で最後だった。他のクラスのを聞くとどこも本当に上手で聞けば聞くほど不安になってきた。

（2年5組 生徒10 さんの続き）

とうとう順番がくる。司会の人との紹介と共にどんどん緊張してきた。今までもらったアドバイス通り歌えるかなとか優秀賞とれるかなとか色々な気持ちが押し寄せ、指揮者が手を挙げた。でも、いざ始めると練習していた時のことを思い出せたりして意外とリラックスして歌えたと思うし、今までで一番いい五組の個性あふれる五組だけの「ヒカリ」が歌えた達成感でいっぱいだった。

そして結果発表。「二年五組のヒカリ」そう言われた瞬間、私は嬉しく友だちと、笑い合った。上手くいかなかったこともたくさんあったけど、五組の努力が形に残って本当に良かった。私は、優秀賞以上に努力をして何かを得ることの大切さを改めて感じた。一年に一度の二年五組だけの「ヒカリ」と優秀賞、それから、努力することの大切さを得た五組が最高に輝いた瞬間だった。

『幸せなこと』 2年6組 生徒11 さん

私はこのクラスで最後に全力で取り組める合唱コンクールがとても楽しみでした。たとえ優秀賞が取れなくても、練習で頑張った分だけの成果を出せて、クラスの絆が前よりももっと深まる、そんな素敵な合唱コンクールをこの6組のみんなで挑めることが嬉しかったです。日々の練習の中で昨日できなかったことが出来た。そしてそれを継続することが出来た。一日一日の練習で常に達成感を感じることができていました。最初の方は朝練で全然集まるれなかったし、移動に時間がかかって練習時間が削れたこともあって、歯がゆい時間も多かったけれど、先生や周りの友達に自分たちの歌が褒められてだんだん自信が変わっていき、最後に全力を出しきれたことが何より幸せでした。深山先生がこう言いました。

「私たちみんな自身が今を生きている時の旅人」私はこの言葉がとても胸に響きました。みんなと時間を一緒に過ごすことによって、辛いときもある。だけどそれよりも幸せな時間が多いと気付くことが出来ました。私は6組のみんなで創り上げた「時の旅人」が大好きです。



『合唱コンクール』 2年6組 生徒12 さん

去年は見事に優秀賞を取った記憶が、練習をしている時に頭をよぎった。また優秀賞を取りたい！という気持ちでいっぱいだった。6組は元気な男子が多く、歌も上手かった。しかし練習をしていくうちに問題点がたくさん出てきた。それは一部の人しか声を出さず、一部の人がそれに頼っていることだ。合唱コンクールはみんなが一生懸命に取り組んで挑む行事。なのに練習に参加してくれなければ、一部の人がただ歌っている合唱になってしまう。そのため、真面目に取り組んでいる人と取り組んでいない人でぶつかることもあった。そんなこともありながら本番を迎えた。6組は2年生でトップバッターだった。緊張などいろいろな感情が芽生えてきた。そして合唱は終了し、結果発表となった。結果は、取れなかった。自分は悔しいという気持ちしかなかった。これまで出てきた感情は、自分たちが本番までに一生懸命頑張ってきた分の感情だと思った。クラスで臨む行事は、一人で頑張っても面白くないし、楽しくない。一生懸命に行事を頑張ることで湧く感情を改めて実感した。もうクラスで臨む行事はないが、クラスで平凡な毎日を過ごすことも行事と同じくらい大切だと思う。これからも6組のみんなで頑張っていきたい。

『優秀賞 信じる』 2年7組 生徒13 さん

「千の風に～」7組に響く歌声。男子の発声練習に合わせて、女子も歌った。私はこれが最後の練習かと少し悲しくなった。そう今日は、文化発表会だ。

7組の曲が信じるに決まったとき、私は正直信じるという曲がよく分からなかった。そして、よく分からないまま練習を始めた。練習を始めたときは、あまり声も出なくて、自信もなくあやふやな所も多かったが、毎日毎日練習をしているうちに、少しずつ自信を持てるようになり、あやふやな所もなくなっていったので声も出るようになった。先生に言われたこと、クラスで考えたことを楽譜に書き込んだり、実際に歌ってみての改善点などがたくさん見つかった。ああだこうだと練習してるうちに文化発表会の前日になった。そして当日の朝、私は緊張して学校に行き、最後の練習をした。ついに文化発表会が始まり、1年生が歌い始めた。1年生の合唱コンクールが終わり、2年生の番だ。そしてついに7組に順番がまわってきて、ステージにあがった。私は緊張して足が少しふるえていた。けれど、歌い始めると緊張がどこかに飛んでいき、リラックスして歌うことができた。歌い終わり、席につくと次々と他のクラスが歌い、そして2年生の合唱コンクールが終わった。3年生の合唱はとてもすごかった。圧倒された。圧倒されたまま3年生の合唱コンクールが終わった。午後の部では吹奏楽部の演奏などで盛り上がった。気持ちが高ぶったまま結果発表になった。1年生が発表され、2年生。5組、1組と呼ばれ、最後に7組が呼ばれた。私はとてもうれしかった。

私はこの文化発表会で学んだことがある。それは仲間と協力してがんばること。クラス全員でがんばったからこそその優秀賞をもらえて誇らしい気持ちになった。

『努力でつかんだ優秀賞』 2年 7組 生徒14 さん

2年7組が優秀賞だと知ったとき、私は自分の耳を疑いました。私は優秀賞をとりたかったけど、他のクラスの合唱がすごかったので、無理だと思っていました。そのとき、私は努力をすればその努力の量に等しい何かを得ることができるのだと思いました。

合唱の練習を始めた日、私は合唱の練数をするのがとても嫌でした。自分の時間が無くなるのと、そもそも歌うことが嫌いなのが主な理由でした。次の日も、その次の日も考えは変わりませんでした。そんな考えが変わったのは、それからしばらくしてからでした。

考え方が変わったときかけは、家に帰ってから「信じる」のCDを聞いたときに思ったことです。それは、自分たちが歌っている歌とCDから聞こえてくる歌がまったく違ったということです。この違いを知ってからは、もう少し練習をしっかりとしなければと思いました。

それからは前と比べれば、少しだけ練習するときの気持ちもましになりました。

でも、もう一度、合唱が少し嫌になったときがあります。それは3年生と歌い合いをしたときです。3年生の歌は迫力があり、自分たちの歌とは比べものにならないほどすごかったです。でも、その考え方は間違っていました。その歌をこえられるよう努力する必要があると気づきました。

だから努力しました。だから沢山練習し、優秀賞をつかむことができました。今回の合唱は努力の大切さを知ることができる合唱でした。



* 保護者の方へ連絡です！ *

①運動会の写真販売の締め切り日が11月12日(火)までとなっております。(期間を過ぎても購入できますが、価格が1.5倍になってしまいます。)再度ご確認の上、希望者のかたはお忘れなくお願いします。もし、お知らせのお手紙が見当たらないようでしたら、担任までお申し出ください。

《りんごのうさぎ切り》

②家庭科でりんごの飾り切りテストが来週あります。

授業で2つの切り方『りんごの木の葉切り』と

『うさぎりんご』のどちらかを切るようです。

くわしくは、お子さまにご確認ください。少しでも包丁に慣れ、調理に対して興味を持ってもらえるようにという目的ですので、ご家庭でも練習していただくと幸いです。よろしくお願いします。



《りんごの木の葉切り》



③11月25日(月)5時間目に、2年生保健講話を実施します。今回の保健講話の内容は、中学生の諸課題である『人の付き合い方』と『思春期の性』についての講演会です。講師は、林間クリニック産婦人科医 南淵 芳 先生です。この講演会を保護者の方へも公開する予定です。講演会への参加をご希望の方は、下の申込書を担任までご提出ください。よろしくお願いします。

《お知らせ》 2年保健講話

テーマ：『人の付き合い方』と『思春期の性』について

日時：11/25(月)5時間目(13:35~開始予定、60分間の予定)

場所：体育館(上履きは各自でご持参ください。)

講師：林間クリニック産婦人科医 南淵 芳 先生

※学校へ来校の際は、徒歩もしくは自転車でお越しください。駐輪場は、校舎北側です。

-----切り取り線-----

《保健講話 参加申込書》

11/25(月)の保健講話への参加を希望します。

2年 組 番 生徒氏名：

保護者氏名：